

【統計表】

1 平成21年産水稻の作柄表示地帯別田植え及び出穂の状況（8月15日現在）

作柄表示地帯	田 植 期					出 穂 期					出穂済面積割合 %	対平年差 ポイント
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較			
				対平年	対前年				対平年	対前年		
北 海 道	月日 5. 19	月日 5. 23	月日 5. 28	1日早	1日遅	月日 7. 31	月日 8. 5	月日 8. 11	4日遅	3日遅	100	0
石 狩	5. 17	5. 21	5. 27	2日早	1日早	8. 4	8. 7	8. 11	4日遅	4日遅	100	0
南 空 知	5. 19	5. 22	5. 27	1日早	並み	8. 1	8. 6	8. 12	4日遅	3日遅	100	0
北 空 知	5. 17	5. 22	5. 28	2日早	1日遅	7. 29	8. 2	8. 6	4日遅	4日遅	100	0
上 川	5. 18	5. 22	5. 28	2日早	1日遅	7. 29	8. 4	8. 11	6日遅	5日遅	100	0
留 萌	5. 16	5. 20	5. 27	4日早	1日早	7. 29	8. 3	8. 8	3日遅	1日遅	100	0
渡 島	5. 23	5. 27	5. 31	並み	1日遅	8. 6	8. 10	8. 17	4日遅	3日遅	93	-6
檜 山	5. 21	5. 26	6. 1	1日早	1日早	8. 5	8. 9	8. 15	4日遅	2日遅	96	-1
後 志	5. 18	5. 24	5. 30	1日早	2日遅	8. 1	8. 6	8. 11	5日遅	6日遅	100	0
胆 振	5. 20	5. 24	5. 30	2日早	2日早	8. 7	8. 10	8. 13	5日遅	2日遅	100	1
日 高	5. 19	5. 22	5. 26	3日早	2日早	8. 2	8. 5	8. 14	並み	3日早	97	0
十 勝	5. 28	5. 30	6. 7	2日早	3日早	8. 5	8. 10	8. 13	6日遅	4日遅	100	1
網 走	5. 22	5. 27	6. 1	1日早	並み	8. 3	8. 7	8. 13	5日遅	1日早	100	0

注： 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植え及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

2 平成21年産水稻の作柄表示地帯別作柄概況（8月15日現在）

作柄表示地帯	作柄の良否	（ 平 年 比 較 ）			
		穂数の多少	一穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
北 海 道	やや不良	やや少ない	多い	やや多い	不良
石 狩	やや不良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
南 空 知	やや不良	平年並み	やや多い	やや多い	不良
北 空 知	やや不良	やや少ない	多い	やや多い	不良
上 川	やや不良	少ない	多い	やや多い	不良
留 萌	やや不良	少ない	多い	やや多い	不良
渡 島	やや不良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
檜 山	やや不良	少ない	多い	やや多い	不良
後 志	やや不良	少ない	多い	平年並み	やや不良
胆 振	やや不良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
日 高	やや不良	やや少ない	多い	やや多い	不良
十 勝	やや不良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
網 走	不良	少ない	やや多い	やや少ない	不良

注：1 本表で用いる作柄の良否の表示区分は、「良」が作況指数106以上、「やや良」が102～105、「平年並み」が99～101、「やや不良」が95～98、「不良」が94以下である。

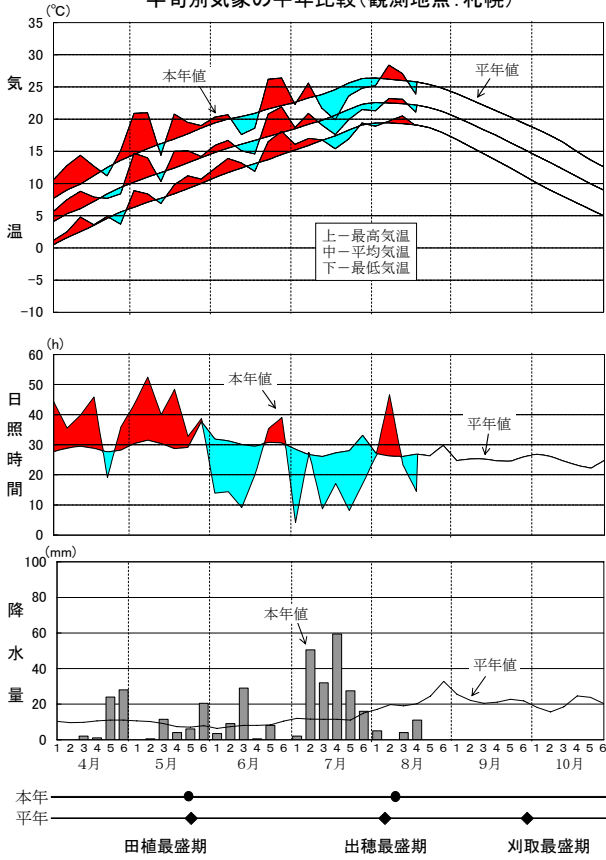
2 本表で「穂数の多少」、「一穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分は、「多い(良)」が平年対比106%以上、「やや多い(やや良)」が同102～105%、「平年並み」が同99～101%、「やや少ない(やや不良)」が同95～98%、「少ない(不良)」が同94%以下である。

【気象経過】

気象経過と生育ステージ

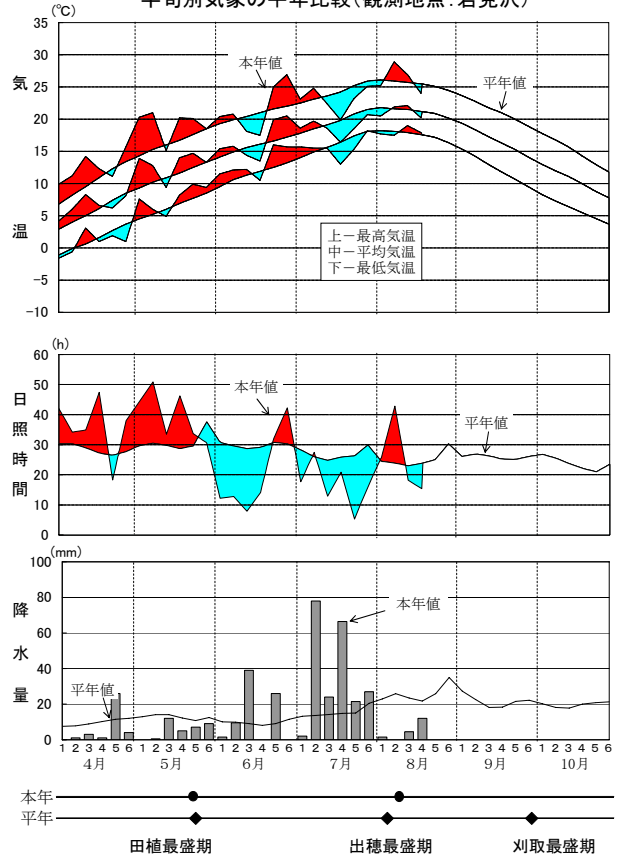
石狩

半旬別気象の平年比較(観測地点:札幌)



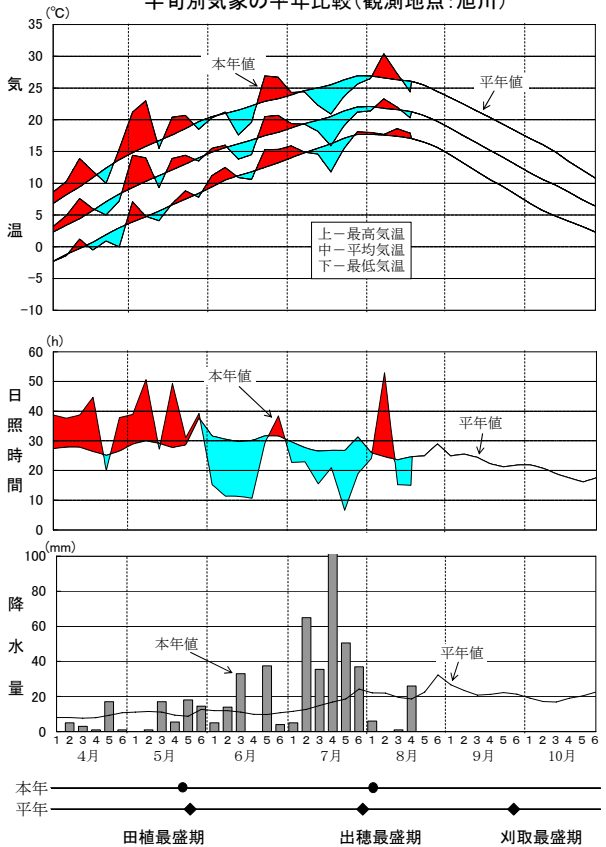
南空知

半旬別気象の平年比較(観測地点:岩見沢)



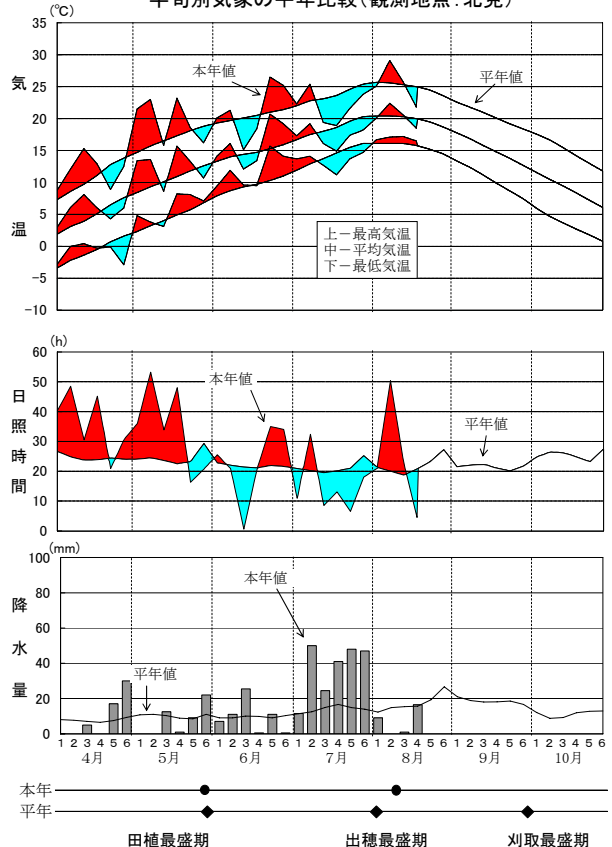
上川

半旬別気象の平年比較(観測地点:旭川)



網走

半旬別気象の平年比較(観測地点:北見)



資料:「アメダス気象データ」

【関連データ】

水稻の年次別推移（北海道）

年 産	作付面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作況指数	10 a 当たり 平年収量
	ha	kg	t		kg
平. 11	138 500	534	739 200	103	516
12	134 900	540	729 100	103	526
13	122 000	526	642 100	100	526
14	120 200	482	579 800	91	528
15	117 800	385	454 000	73	528
16	120 500	518	623 900	98	528
17	119 100	573	682 600	109	528
18	115 400	558	643 900	105	530
19	116 000	520	603 200	98	532
20	114 600	565	647 500	106	534

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稻調査の中の作柄概況調査として実施し、水稻の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査対象数

作況標本筆：630筆 作況基準筆：53筆 巡回・見積り：180市町村

3 調査期間

8月15日現在で水稻の生育・作柄概況を調査した。

4 調査方法

調査は、作況標本筆、作況基準筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

5 用語の解説

- (1) 「穂数の多少」は、1 m²当たりに出穂したのすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (2) 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (3) 「全もみ数の多少」とは、1 m²当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (4) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。

- (5) 前述の**平年比較**とは、過年次の作況標本筆結果から作成した「1㎡当たり穂数」等の各収量構成要素の平年値との比較である。
- (6) **作況指数**とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり(予想)収量の比率である。
- (7) **10a当たり平年収量**とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況を平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいう。

6 北海道における作柄表示地帯は、下表のとおりである。

作柄表示地帯	対象地域
石狩 南空知	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、石狩支庁管内 夕張市、岩見沢市、美唄市、三笠市、空知支庁管内のうち南幌町、由仁町、 長沼町、栗山町、月形町
北空知	芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、空知支庁管内のうち 奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、 北竜町、沼田町、幌加内町
上川	旭川市、士別市、名寄市、富良野市、上川支庁管内、稚内市、宗谷支庁管内、 留萌支庁管内のうち天塩町、幌延町
留萌	留萌市、留萌支庁管内のうち増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、 遠別町
渡島 檜山	函館市、北斗市、渡島支庁管内 檜山支庁管内
後志	小樽市、後志支庁管内
胆振	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、胆振支庁管内
日高	日高支庁管内
十勝	帯広市、十勝支庁管内、釧路市、釧路支庁管内
網走	北見市、網走市、紋別市、網走支庁管内、根室市、根室支庁管内

7 利用上の注意

本調査(8月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果は、北海道農政事務所ホームページ「統計部」「農林水産統計」に掲載しています。

ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/index.html>



平成22年2月1日現在で、
世界農林業センサスを実施します。
調査員がお伺いしましたら、
ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

農林水産省 北海道農政事務所 統計部

本公表資料に関する問い合わせ先

生産流通消費統計課 生産統計第2係

電話：(011) 642-5619 (ダイヤルイン)

その他農林水産統計資料に関する問い合わせ先

統計企画課 企画係

電話：(011) 642-5609 (ダイヤルイン)